

# 結果の概要

～平成25年12月分～

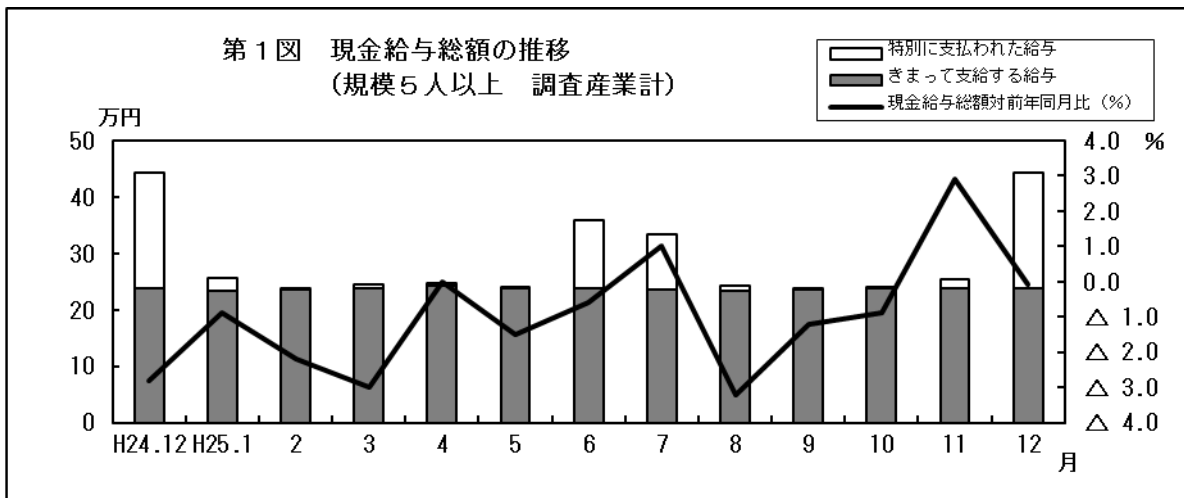
## 1 賃金の動き

12月分の調査産業計の1人当たりの月間現金給与総額は、442,543円となり、その指数は対前年同月比0.1%減（規模30人以上では、502,472円、1.8%減）となった。（第1図、第1・2表）

また、きまって支給する給与（定期給与）は、237,613円、対前年同月比は増減無し（規模30人以上では、259,026円、0.1%増）であった。（第1・2表）

きまって支給する給与のうち所定内給与は、219,624円、対前年同月比は0.6%減（規模30人以上では、237,686円、0.3%減）であった。（第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者の現金給与総額は、660,479円（規模30人以上では、718,906円）、パートタイム労働者は、104,718円（規模30人以上では、115,904円）であった。（表20・21表）



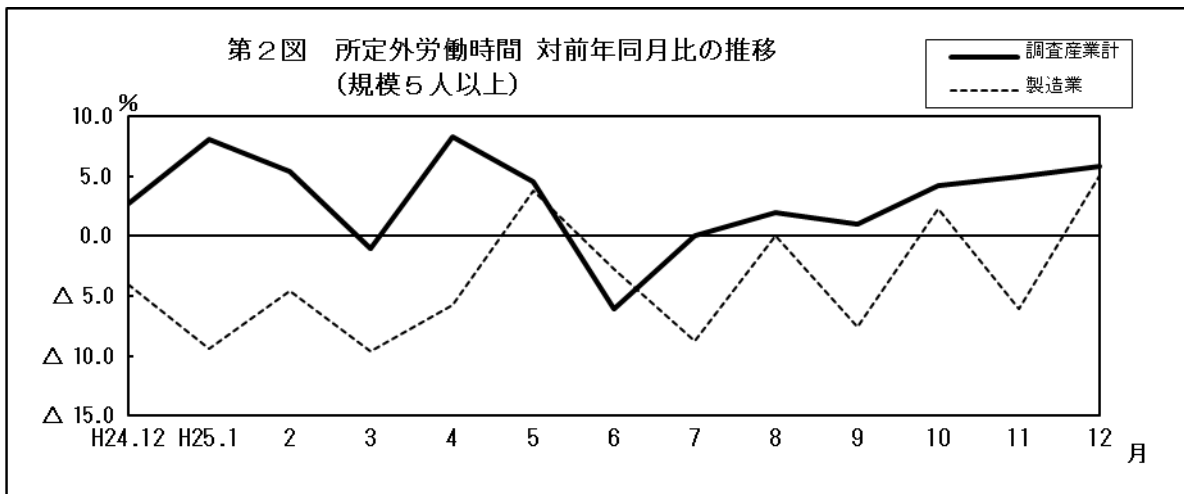
## 2 労働時間の動き

12月分の調査産業計の月間総実労働時間は、139.6時間、対前年同月比は0.1%増（規模30人以上では、143.6時間、0.3%増）となった。（第1・2表）

また、所定外労働時間は、10.9時間、対前年同月比は5.8%増（規模30人以上では、12.4時間、2.5%増）であった。（第2図、第1・2表）

製造業の所定外労働時間は、14.5時間、5.1%増（規模30人以上では、15.6時間、16.4%増）であった。（第2図、第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者の総実労働時間は、172.0時間（規模30人以上では、168.9時間）、パートタイム労働者は、89.5時間（規模30人以上では、98.3時間）であった。（表20・21表）



### 3 雇用の動き

12月分の調査産業計の推計常用労働者数は、規模5人以上で2,040,079人、対前年同月比は0.2%増（規模30人以上では、1,167,534人、対前年同月比は0.2%減）となった。製造業では392,331人、対前年同月比は0.7%増（規模30人以上では、277,271人、対前年同月比は0.3%増）であった。（第3図、第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者数は、1,239,226人（規模30人以上では、748,725人）、パートタイム労働者数は、800,853人（規模30人以上では、418,809人）となり、常用労働者中のパートタイム労働者の比率は、調査産業計で39.3%（規模30人以上では、35.9%）であった。（第1・2・20・21表）

